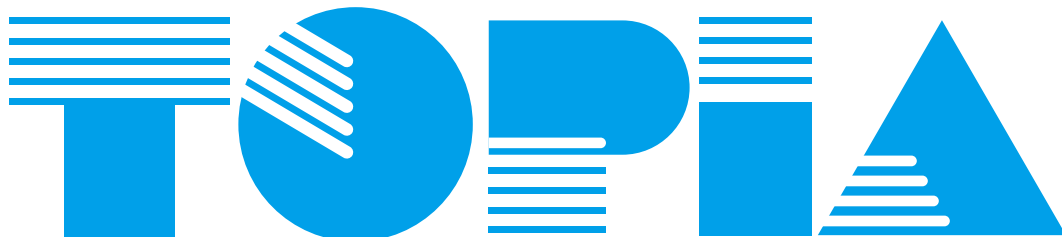


第64号



2015.09



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL：088-656-3303

2015年度外国人による徳島県日本語弁論大会



出場者と審査員の方々

7月20日（月・海の日）に「2015年度 外国人による徳島県日本語弁論大会」が開催され、14名の方々が出場されました。出場者の方たちは日本語で熱弁をふるいました。弁論大会終了後の交流会では、出場者と来場者の方たちが一緒に楽しいひとときを過ごしました。

今大会で最優秀賞を受賞されたのは、県内で介護職員として勤務されているフィリピン共和国のサリゲンバ メリー アン バンザリさんです。

最優秀賞受賞スピーチ

「ありがとう」を励みに

サリゲンバ メリー アン バンザリ
(フィリピン共和国)

私

は小さい頃から、大好きなりんと富士山がある日本に憧れていました。だから大学では日本語の勉強をしました。ところが大学を卒業しても日本どころか、フィリピンでの仕事さえ見つけることが出来ませんでした。やっと見つけた仕事は日本ではなくタイの英語教師でした。タイで2

年が過ぎたころ「アン、日本に行けるチャンスがあるよ。早く帰っておいで。」と友人から連絡がありました。私はすぐに帰って日本に行く方法を調べました。調べてわかったことは、フィリピンと日本の政府の間で、EPAと言われる経済連携協定が結ばれ、介護福祉士候補者を募集しているということでした。

すぐに申し込みをして試験を受けると、合格の通知が届きました。「やったあ、日本に行ける。」と飛び上がって喜びましたが、その時はまだ家族には何も話していませんでした。心配しながら両親にこの話をすると、やっぱり反対されました。しかし私が一生懸命気持ちを伝えると、仕方なくゆるしてくれました。

1年間の日本語の研修が終わり、徳島の特別養護老人ホームにやってきました。私は日本語には少し自信がありましたが、施設に来て挨拶をした時に、返ってきた言葉は、「おまはん、どっからきたんで。名前なんちゅうんで。」さっぱり分かりません。しかしお年寄りは次々と話しかけてきます。「よろしゅうたのんまんでよ。」「なかようしてつかいな。」「えー、ちょっと待って〜。ここはどこの国。」「ここは日本じゃないの。」「私が勉強してきた日本語は通じないの。」まるで宇宙人と話をしているように感じました。私は思い切って挨拶をしました。「私はフィリピンから来たアンです。今日から宜しくお願いします。」すると返ってきた言葉は「はいはい、どちらいかに。」…「分からない。やっぱりここは日本と違う。日本じゃない。」

1ヵ月ほどたった時、お年寄りが「ねえちゃん、部屋にいぬ。」と言いました。私は急いで部屋をのぞきましたが、犬はどこにもいませんでした。職員さんに「Aさんが部屋に犬がいると言っています。」と報告すると、職員さんは、「えーっ」と言って走りかけ、次に立ち止まって私を見て大笑いをしながら「アン、それは阿波弁。部屋にいぬは部屋に帰るということだよ。」と教えてくれました。でも「いぬ」はワンちゃんのことでしょう。

それから3年が過ぎました。阿波弁もこのごろは少し理解できるようになりました。

ところで、私は大変やりがいのある介護の仕事をしています。介護をしていて1番嬉しいことは、本当に少しのことでも、お年寄りは「ありがとう」と言ってくれます。この「ありがとう」を聞くたびに、介護の仕事をして良かったと感じています。

最近テレビで「あったかーいんだから」をしていると、お年寄りが喜んで見えています。だから私が「あったかーいんだから」の物まねをすると、大きな口を開けて笑ってくださり、「笑わしてくれてありがとう。」と、また「ありがとう」を言ってくれます。それが嬉しくて、またまた物まねをしてしまいます。

こんなことを毎日している私ですが、今は来年の1月にある介護福祉士国家試験の勉強に取り組んでいます。試験に合格すると、いつまでも日本にいますことができますが、不合格になるとフィリピンに帰らなければなりません。私は徳島が大好きです。もっとも日本の福祉や先進介護を学び、将来フィリピンで役立つ介護士になりたいという夢があります。大げさにいうならば「介護を通してフィリピンと日本の架け橋になりたい。」と思っています。そんな私を見て、お年寄りが阿波弁で「がんばりなはいよ。」「せいだして頑張るんでよ。」

この励ましを聞くたびに、今度は私が「ありがとう」の言葉をお返ししています。ご静聴ありがとうございました。

この励ましを聞くたびに、今度は私が「ありがとう」の言葉をお返ししています。ご静聴ありがとうございました。



熱弁中のサリグンバさん



質疑応答中

TOPIA ニューフェイス

長野副理事長

皆

さん、こんにちは。当協会の副理事長の長野と申します。

5月に着任し4ヵ月が過ぎましたが、その間に、当協会の大きな行事である「外国人による日本語弁論大会」と「あらそわ連による阿波踊り」を実施しました。

それぞれ、今年で26回目、35回目の開催となる伝統ある行事で、弁論大会では発表者の日本語の上手なことに驚き、着眼点の違いに、審査員の立場を忘れて聞き入っていました。

また、阿波踊りでは、天気にも恵まれ、参加者の皆さんには、「踊る阿呆」になって徳島の夏を満喫していただけたと思っています。

両行事とも、成功裏に終えられたのも、協会職員はもとより、多くの方々、団体の皆様の御協力のおかげであり、紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

当協会では、これらの行事を通じて、国際交流・国際理解の促進に取り組むとともに、日本語教室、通訳ボランティア、生活相談や観光案内等、様々な事業を行っておりますので、お気軽にお立ち寄りいただきたいと思います。



徳島県国際交流員 劉 点

は

じめまして。中国湖南省から参りました、劉点と申します。徳島県庁と国際交流協会で仕事をさせていただいてあっという間にもう5ヵ月になりました。

徳島は豊かな自然に恵まれ、温かい人情が溢れる町だと強く感じ、仕事と生活をととても楽しく過ごしています。熱情あふれる阿波踊り等代表的な徳島のユニークな文化を味わうこともできました。これからも国際交流のイベントを通じて県民の方々ともっと交流し、仲良くしたいと思っています。また、徳島の良さを湖南省の人に知っていただくと同時に、湖南省の魅力を県民にも伝えたいと思います。異文化との出会いはお互いの文化をより豊かなものにするチャンスになると信じています。姉妹都市である湖南省と徳島県、また、中日両国がより深い絆で結ばれるように頑張りたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



TOPIA 夏のイベント報告

中高校生夏期英語セミナー

8

月12日(水)から14日(金)まで、阿波市土成町の四国霊場第七番札所において平成27年度中高校生夏期英語セミナーを開催しました。このセミナーは英語でのコミュニケーションを通して外国への一層の理解を深め、これからの国際化を担う青少年の育成を図ることを目的としています。今回は中高校生37名と外国語指導助手(ALT)35名が参加しました。2泊3日という短い期間でしたが、国際理解などについて学びながら、異文化交流を楽しむことができました。



セミナー最終日にみんなで集合写真

阿波おどり交流事業 あらそわ連

8

月14日(金)、15ヵ国・2地域の外国人約80名を含む総勢約250名が徳島市内演舞場に踊り込みました。参加者達は「踊りは、あらそわ連。ヤットサー、ヤットサー」と大きなかけ声で阿波踊りを満喫し、相互理解を深めました。



夏休みこども日本語教室

JTMとくしま日本語ネットワーク

10

年目となる恒例のサマースクールが7月21日（火）～8月1日（土）のうち、8日間開催され、外国にルーツを持つ10カ国の小学生22名、中学生5名計27名が参加しました。

今年は大学生や高校生、ボランティアの方々が多数子どもたちの支援に携わってくださり、多様な連携・協働のもと行われました。

暑さにも負けず、子どもたちは元気いっぱい夏休みの宿題や日本語の勉強に励みました。

全体学習では、自己紹介や、しりとり、オノマトペなどの言葉遊び、漢字づくり、言葉さがし、妖怪や雷ゲーム、読み聞かせなどの他に、実物の昆虫の観察等の活動が行われ、日本語を学びながら、子ども同士も交流を楽しみました。

また、各自の思いや夢を発表したり、絵日記に書いたりしました。

この教室を通して、自分と同じように頑張っている仲間がいることを励みにして、2学期からもそれぞれの生活の場で自信をもって活動してほしいと思います。



サマースクールの様子

当協会では、国際交流や国際理解に関心を持つ県内の中高校生などの職場体験を受け入れています。当協会の国際交流員や多言語相談員、JICAの国際協力推進員などから国際交流・協力についてお話を聞いたり、日本語教室の見学や外国人観光客への案内などを通じて、外国人の方と実際にコミュニケーションを図る体験をしてもらっています。

今回は、職場体験をした富岡東中学校と徳島中学校の生徒さんからの感想を紹介します。

職場体験を終えて

富岡東中学校 3年 竹治 至

不安だらけだった職場体験が、こんなに充実したものになるとは思っていませんでした。

しゃべりやすく、笑顔で接してくださった職場のみなさんのおかげで、2日間が本当にあっという間だったと感じています。この体験で僕が大きく胸に刻んだのは、「視野を広く持つ」ことです。僕に説明や話しをしてくださった人はみんな英語などの外国語を身につけていました。より語学を学ぶ意欲が高まったので、これからは広い視野を持って、将来を見据えていきたいです。2日間という短い期間でしたが、様々な体験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。この体験を無駄にしないよう、これからも日々まい進していきたいです。

徳島中学校 3年 川島 万智

私は、職場体験を終えて、国際戦略センターは外国人の生活相談や観光地案内など外国人の手伝いをするところだということを知りました。

日本語教室では、日本人でもわかりにくい言語の意味を知ることができたり、通っている人たちとの会話ができていたりして、楽しかったです。また、国際理解学習では、私の思っていた以上に日本のマナーや生活の違いがあったことに驚きました。他にも普段できない様々な体験ができ、この職場を選択してよかったと改めて実感しました。

私は、今回の体験によって、さらに外国に興味を持ったので、将来、海外に行き、その国の文化に触れ、違う角度からの世界を見ていこうと思いました。

～県内国際交流団体活動紹介～

台日親睦2015台湾美化協会年次大会報告

徳島掃除に学ぶ会事務局長 藤村 良枝

徳島掃除に学ぶ会は、NPO法人日本を美しくする会創設者鍵山秀三郎氏の理念を理解し、2005年11月27日に発足し、今年で10年目を迎えます。「掃除に学ぶ会」は「掃除を学ぶ会」ではなく、主に学校のトイレをお借りし、お掃除させて頂きながら、同時に人生を磨く大切な気づきを学ぶ自分磨きの会です。県内の小中高等学校の先生や生徒さんとともにトイレを磨かせていただき、忘れかけている大切な感動を共有しています。

毎月の定例会は2015年4月で122回目の開催に至りました。その他、年に一回の四国ブロック会でリーダー研修を開催して情報共有をし、より良い会を目指しております。

そして2013年より、台湾へ足を運んでいます。「台湾美化協会」が同年に新組織で生まれ変わり、清掃活動による社会貢献活動への協力とリーダー養成の研修もかねて、NPO法人日本を美しくする会を通じて協力をさせていただいております。台湾での活動は2015年4月で3回目となり、この清掃活動大会に参加させていただき、その実情と今後の動向を確認しました。有志の参加者が結集し、学校の掃除を通じて自らの心磨きと美しい国作りの為に、暑さを忘れ一生懸命トイレ掃除をしました。そのことにより、日本の掃除文化と掃除の大切さを伝え今後の交流を計りました。

また、徳島の文化である阿波踊りの伝統文化に慣れ親しんでいただくことにより、台日の親睦を更に保つことができたように思います。この阿波踊り披露の為に予てより中国語を勉強していた世話人の一人が阿波踊りの指揮を執りました。日頃の勉強の成果を試す良い機会となりました。台湾はもともと親日派で日本語もよくわかる方も多し、日本語を学ぶ多くの若者にとっても良い機会となっております。また、観光では、台湾で活躍した日本人のことが学べる観光地を訪れ、日本人の誇りを参加者全員で共有しました。

今年度の台湾美化協会年次大会は、2015年4月18日（土）～19日（日）までで、交流会は台北矜谷国際会議センターで350名、お掃除実習は新北市立永平高校で550名の総勢900名。日本からの参加者は133名で、その内徳島掃除に学ぶ会から20名が参加しました。

当会の活動は、企業の役員が多くリーダー養成研修にもなります。最近では、賛同企業の若手社員なども多く参加され明るい日本の未来が期待されます。美しい国づくりの実現に寄与していくこの活動に毎年参加し、幅広く広めてゆきたいと思います。



「青年海外協力隊発足50周年式典 in 徳島」開催報告



徳島県協力隊を育てる会、徳島県青年海外協力協会、徳島モンゴル医療交流協会、JICA四国支部は、今年、青年海外協力隊発足50周年を迎えたことを記念し、8月2日に徳島市の阿波観光ホテルにて「青年海外協力隊発足50周年記念式典」を開催しました。

当日は徳島県副知事、徳島大学学長、JICA柳沢理事をはじめ、徳島県内のJICAボランティア経験者、協力隊を育てる会関係者、徳島モンゴル医療交流会関係者の総勢170名が集まりました。

式典では50周年を振り返り、協力隊経験者が地域創生にも貢献していることが紹介されました。また、昨年12月に帰国した元青年海外協力隊員の増矢幸子さん（派遣国/グアテマラ、職種/助産師）の帰国報告が行われました。

発足50周年という節目の式典を通じて、日頃から協力隊事業をご支援いただいている方々とJICAボランティア経験者とのよい交流の機会となりました。



協力隊50周年式典元協力隊員集合写真



増矢さんによる帰国報告
(現在徳島大学大学院医歯薬学研究部の特任助教として活躍)

JICA映画上映会&青年海外協力隊・シニア海外ボランティア説明会

JICAボランティア募集説明会と映画無料上映会を徳島大学とTOPIAで開催します。

詳しくはTOPIAのHP「国際協力」のサイトをご覧ください。

入場無料

予約不要

10月3日(土) 13:00～17:00

会場：徳島大学 常三島キャンパス内「けやきホール」

映画「happyーしあわせを探すあなたへ」上映

【2014年1月 NHK Eテレの「幸福学」白熱教室でも紹介された話題作！】

＜JICAボランティア体験談＞

一生懸命働きハッピーに暮らす人々が多いアフリカ地域で活動したJICAボランティアが活動報告をします。



10月18日(日) 13:00～17:00

会場：TOPIA 会議室

映画「聖者たちの食卓」上映

知られざるインドの聖地、ハリマンディル・サーヒブ<黄金寺院>に500年以上受け継がれる「無料食堂」と、「聖なるキッチン」の舞台裏を初公開！

＜JICAボランティア体験談＞

聖者たちの食卓の舞台に近いアジア地域で活動したJICAボランティアが活動報告をします。



＜お問合せ＞

JICA徳島デスク（TOPIA内）久保

電話：088-656-3303 メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

平成27年度 後期 TOPIA日本語教室 案内

(この日本語教室は、文化庁の事業です。)

※10:30～12:00、TOPIA会議室にて開催します。

※テキスト「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」(第2版)などを使って勉強しますので自分で買ってください。(2,700円/1冊 CD付き) また、季節の行事や、徳島の生活についても、勉強していきます。

曜 日	先 生		勉 強 の 内 容	はじまる日
火曜日	元木	初級Ⅱ・Ⅲ	《みんなの日本語Ⅱ》26課～50課 可能、意向、命令、禁止、条件、理由、受身、使役、敬語表現など、いろいろな表現を勉強します。	9/8 (25回)
水曜日	ボランティア	グループ レッスン	レベルにあわせてグループをつくり勉強します。 *子どもといっしょに来る人は、となりの部屋に子どもをあずけることができます。保育の先生が子どもと楽しくあそんでくれます。(予約してください)*都合で勉強・保育の場所が変わることがあるかもしれません。	10/7 (20回)
木曜日	山田	入門	《みんなの日本語Ⅰ》1課～ 日本語の基本的な表現をはじめから勉強します。	10/1 (20回)
金曜日	青木	初級Ⅰ	《みんなの日本語Ⅰ》14課～ 動詞のいろいろな活用形、て形、ない形、辞書形などと、それを使った文型を勉強します。	10/2 (20回)
日曜日	J TMの先生	初級Ⅲ	《みんなの日本語Ⅱ》38課～ 理由、受身、使役、敬語表現などを勉強します。	10/4 (20回)
	ボランティア	グループ レッスン	レベルにあわせてグループをつくり勉強します。	

*グループでの勉強は、前日までに申しこんでください。(当日、急に来た場合、勉強できないことがあります)
またグループの数がかぎられているため、自分のレベルにあわないこともあります。

*休むときは電話連絡をしてください。

木曜日	木村 宮本	特別 入門	ひらがな・カタカナが読めない人、書けない人のクラス。 あいいうえおの勉強と、あいさつ・かず・もののなまえなども勉強します。 また、徳島のことについても勉強します。	いつでも はいます。
-----	----------	----------	---	---------------

10月・11月頃 2クラス 集中講座(予定)	元木 青木	集中講座 全2日間	職場や近所の人とのコミュニケーションがスムーズに行えるよう、初級の日本語と中級の日本語、2クラスのサバイバル会話の講座を予定しています。 くわしくは10月頃、ホームページでお知らせします。
------------------------------	----------	--------------	---

1. 連絡先 (公財)徳島県国際交流協会 (TOPIA)

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 徳島クレメントプラザ6F(徳島駅ビル)

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

2. クラスのお金 **すべてのクラス 無料** (多くの方に勉強してもらいたいため今年度は無料です。)

*台風・大雨・大雪により急にクラスがお休みになることがあります。わからない時は、電話をしてください。

★阿南市国際交流協会、藍住町国際交流協会、吉野川市国際交流協会、NPO法人美馬の里でも日本語教室を開催しています。

★その他日本語に関する情報は、TOPIAホームページ「日本語教室」のサイトを見てください。(日・英・中あり)

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募 集 中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していた
だく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボラン
ティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステ
イ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボラ
ンティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめ、こ
の制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人
の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による多言語電話 相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方
へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語
対応の相談（窓口案内）員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話
（トリオフォン）もごございます。是非、ご利用ください。

受付時間：平日 10:00～18:00

TEL：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合もあり
ますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同い
ただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協
会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口3,000円/年度

団体会員 一口5,000円/年度

詳細は当協会まで。資料をお送りします。

機関誌「TOPIA」記事募集中！

当協会に登録されている団体で、機関誌「TOPIA」
に掲載する記事を募集しています。貴団体の国際交
流活動等を紹介しませんか？詳しくは当協会までお
問い合わせ下さい。

「多文化共生の社会づくり」 パネルを貸し出します

あいぽーと徳島と当協会では、外国人の方の人
権にスポットをあてた人権啓発パネルを作成して
おります。講演会や研修会などの際に、このパネ
ルと一緒に展示しませんか？無料貸出しいたしま
す。当協会にお申し込みください。



在住外国人の方対象の 「防災出前講座」を御活用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフの
巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害
から身を守るために、在住外国人の方を対象にし
た防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・
中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなって
います。＊申込は当協会まで。



防災出前講座の様子

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
クレメントプラザ6F

Tel：088-656-3303

Fax：088-652-0616

URL：http://www.topia.ne.jp

Email：topia@topia.ne.jp